

ヤマノススメファンブック

ヤマノススメ

2合目 あおい+ひなた ver

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

描いた人.. 椎名悠輝





あの時にガラッと
変わってしまったんだ

ズラッ

すごい
綺麗

コレも
お気に入り…
うわすごっ

ここも一人で
行ったの？

どこでも
行けちゃうだね
尊敬しちゃう

かえでさんも
一人で色んな所に
行ってるし
私も行けるように
なりたいなあ

あおいには
無理じゃない？

なををーっ

アッ

ぽあああ

あ

あ

あ

あ

あ

あ



*一番最初にあおいと登った山





飯台と門口



お来た来たよ

長沢黄桜をつた...



ひなたっ
なんでここに？



あおい楓さんに
相談したでしょ

楓さんに教えて
もらったんだ！

楓さんめ！



って、まだ
怒ってるの？

まだ一人で行くのは
危険だからついて
行ってあげるよ！

登山初めて一年も
経ってないんだし

ついて
こないでよね

ちゅん

ちゅん

ちゅん

ちゅん



自然は大きすぎて
無力な自分に
不安だったけど

そんな気持ちがある
分けあえる友達がいる

見るものすべてが
輝いて見えていたが

グキッ

あの時までは...

ッ!!

イタタタ

なにや
ってんのよー
ちよつと
はしゃぎ過ぎ
なのよっ
立てる?



つまずいちゃった

グキッ



ちよつと
ヤバイかも

え...

あと帰り道
半分くらいあるよ



グキッ

グキッ



万事休すだね…

そんな
天気予報じゃ…

雨…



私ここで
待ってるからさ…
あおい一人で
降りなよ

…
やめてよ
変な冗談



行こう
ここからなら
避難小屋の方が近い

ひなたも
不安なんだ

今度は私が支えて
あげなきゃ

あっ

見えたよひなた



助かった

ここで晴れるまで待って二人で山を降りよう

あおい!

パワ
パワ
パワ

ガッ



待っていて中見てくるから

ガッ
チャッ



…先客?

こ…
こんにちは

はい
こんにちは

でも

スペースはまだある

大丈夫?

確かザックの中に…

ゴッ
ゴッ

イテテ

ひなた
中で休もう

嬢ちゃん達
どうしたんだい?



今にして思えば
この小屋に

行かない選択を
してあげればと
思うけど

おら
友達になんか
言うこと
あるだろっ



ごめんなさい
ごめんなさい

あの時はそれが
一番いい案に
思えてた



可哀想に

友達が怪我しち
まったんだろ？

キミが無茶な
登山計画なんて
たてるから



まさかこんな事が
起こるなんて



他に怪我してる
所はねーか？

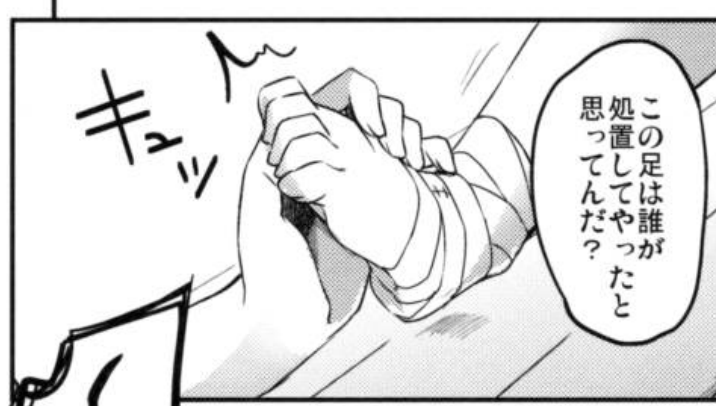
おじさん達がこうやって
介抱してやらなかったら

お前等だけじゃ
まともに
応急処置も出来な
かったんじゃないか？



折角やさしく介抱
してやっつてんの

そんな事言っ
ていいのかな？



この足は誰が
処置してやっつた
と思っつてんだ？



あおい逃げて

おいおい
ご挨拶だな





なんだ？
不服そうだな
ん？

なんならまた足を
弄ってやってもいいな

痛っ
いっ
ビクッ

それじゃあとんでもない
写真付きで送ってやるか

やだあ…
やだあ…

お前等が貧弱な
装備や低い意識で
山登りするから

こんな事にな
ってるんだろ

ふぐっ



ほれ
友達はしっかり
山の洗礼を
受けてるぞ

!!

まだどこか痛い所
隠してないかな
ほれほれ

お前の責任だ
しっかり近くで見て
目に焼き付けてやんな

4!

!!



ワッ
ニョニョ

だから意識を
別の場所に
向けると...

あっあっ!!
いやあ

痛さって
いうのはな
意識するとより
痛みを感じて
しまうんだよ

あっ!!
あっ!!
あっ!!

あま

!!



足の痛さは
感じないっ

ガクッ
ガクッ

あーっ
うーっ
うーっ
うーっ

スポッポッ

ほら
入ってるぞ
こっちに意識を
集中して



ぬ...抜い...

こっちの方が
気になってる
これで足の痛さを
忘れただらる?

マジかよじゃあ

こーやって
こっちを弄っても

じぎぎ

痛がってる
かw

ガクッ

ガクッ

ガクッ

あぁ

ぷぷ
ぷぷ

ぷぷ

あぁ

ぷぷ
ぷぷ

まだ意識が足の方
にいつてる
みたいだな

ロビだのら初心者は...

おじさん
優しいから
こっちに集中
出来る様

ほら
痛い痛い
とんでけ

アホアホアホ

ほぐっ

ひなたっ!!

そんな震えて
どうした?

あんな友達
ほっとして

逃げたかったら
逃げてもいいんだぜ

そんなの
出来るはずない...

おー
体冷え冷え
じゃねーか

山は冷えるからな
とっておきの
いっとくか?

え...



コレ飲んだら
体温上がったよ

これお酒っ!!

なに勿体無い事...



してんだよっ!!

っ!!

まだ山
舐めてるなあ
山での水分の一滴は
血の一滴なんだよ



ほら
貴重な水分だぞ
心して飲め

お酒なんて
飲んだこと
無いのに

この後も飲酒を
強要されて



自分の許容量を
超える量
飲まされた
みたいです

大丈夫
大丈夫
これで

あれ？
あおいちゃん意識
飛んじやった？
おせいおせい

一発で
起きるっしょっ

ひぐっ!!!

なにになになにっ!!

ぷちゅぷちゅ
ぷちゅぷちゅ

おはよう
あおいちゃん

じる、
じる、

はっ
はっ

折角暖めたのに
あおいちゃん
寝ちゃうからさ

睡眠は体温が
下がるから

こんな姿で
寝ちゃ死んじゃまう
と思っさ
暖めちゃうんの



てかお前等
ホントに山
舐めすぎだろ

私は大量に
お酒を
飲まされて

ひなたは足に
怪我をして

おう反省しろ反省っ

こんな状態で
男達に
抗える訳も無く

女二人で男がいる
山小屋にのこのこ
入ってきて
弱みみせるとか
襲って下さいって
言ってる様な
もんじゃねーか

ごめんなさい...
ごめんなさい...

ヌキ
ヌキ
ヌキ

ヌキ

ヌキ

ヌキ

はっ
はっ

ユザッ

あっ
あっ

あっ
あっ

あっ
あっ

あっ
あっ

あっ
あっ

あっ
あっ

あっ
あっ

あっ
あっ

あっ
あっ

あっ
あっ

何してこんな事になってるんだっけ

キキッ
キキッ

だってなあ？

ニヤニヤ

でも俺達が優しいおじさん達でよかった

なんでだよw

あれ？私達？

ひなたが怪我して

この人達が助けてくれて…

ぶるっ

ぶるんっ

おお射精るっ射精るっ！！

今は必死で暖めてくれてるんだっけ？

あっあっあっあっ！！

猟奇殺人犯とかだったら

中出し程度じゃ済んでないんだぞっ





日が昇ると
男達は

逃げる様に
山小屋から
出て行った

じゃあまた
連絡するから

あとな
誰かくるかも
しれねえから
掃除しといた
方がいいぞ



ずっと続く
かのような夜も

気が付いたら
朝になっていた



まあ警察沙汰に
なりたければ
そのままでも
いいけどな

ようやく
私達は

少し休む
事が出来た

そして私は
その日の内に

山道具を
全部捨てた

はずだった…

ガッガッ

あれからひなた
とも連絡を
とっていない

荷物も人間関係も
全て捨てたら

忘れる事が
出来ると思った



TO: 〇〇〇〇
件名: 8月1日
JXX年

この画像が
たくけオ
例、娘
い小屋

まかれ
+日後
れて
ミ

無かった事にする
はずだったんだ



この連絡が
くるまでは

う…うそ…

いやだ…

もういやだよお







どうなっちやうんだらう

あゝ
はぁ

んぐ
う……

あゝ
あゝ

はま
しほ

今回は三人で
来いって
言いたよね？



バカにしてる？
メールにも
書いてるんだが？
読まなかったの？

ごめんなさいっ
ごめんなさいっ



なんで二人で
来たの？





ここなちゃんまで
巻き込んだじゃいけない

おら
相手出てるぞっ
どうした

駄目だ
突く度息が漏れる
だけじゃねーか



仕方ねえ
そんなに喋り
たくないなら
思い通りに
してやるよ



こいつ言葉だけで
全然反省してねーな



こんな悪夢の
様な事が





これはきつと
報いだ：

あぁっ

キミも指導が
必要みたいだっ

いやっ

あっ
ビクッ
ビクッ

相方が出来て
ないのわかったら
キミが率先して
誘わなきゃっ

あぁっ

アッ
アッ

山ってそういう
もんだから

ごめんなさい

ごめんなさい

ひなたまで
巻き込んで

アッ
アッ

アッ
アッ

私が一人で
山登計画なんて
たてなければ…

だめっ
だめっ
えっ

それとも

二人で三人分の
指導受けた
かったのかな？

違うっ

そんなの
思ってたっ
…ない

初心者の
私が生気が
あったから

い
い
い

あ…
あおいっ

た
っ
ぷ
り
反
省

お？
靴下出てきてる
じゃねえか

まだまだ…

さ
せ
て
や
る
よ

フ
ッ
ッ
ッ
ッ

フ
ッ
ッ
ッ
ッ

フ
ッ
ッ
ッ
ッ



私達はどこかで
山を舐めてた
のかもしれない

Tr
Tr

お電話っ…

折り返しで
友達から
きてんじゃね？
ここなちゃん

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

ちよ黙れ
今無理だっつうの
新人教育で
忙しいっ

身をもつて体験したんだ

自分の考えの
甘さや浅はかな
行動の結果が
どのような
事態になるか





楓さん
ここなちゃん
知ってる？



山で鍛えた手はね
すごく太いんだよ
足もたくまし
くってね



ほら電話だ
出る



すごいこの

おい
指でもイケる様に
なったじゃねーか
すげえー

そろそろ
言うこと
聞けるだろ

山はね

こういう人達の
領域だったんだ

お
もしもし
ここなちゃん…？

〇
千ユ

〇
千ユ

〇
千ユ

ごめんね勝手に
かかっちゃったみたい

〇
ふはあ

二人に教えて
あげなくっちゃ…

ちゅぽ

繋がった
よかったー
さっきの電話
あおいさんですか？



ハハハハ

うん！
ごめんね勝手に
かかっちゃったみたい
もう…だめえ…
ひなたばかり

今度は
ここなちゃんも
一緒に行きたいな

やー
是非是非
連れてって
ください

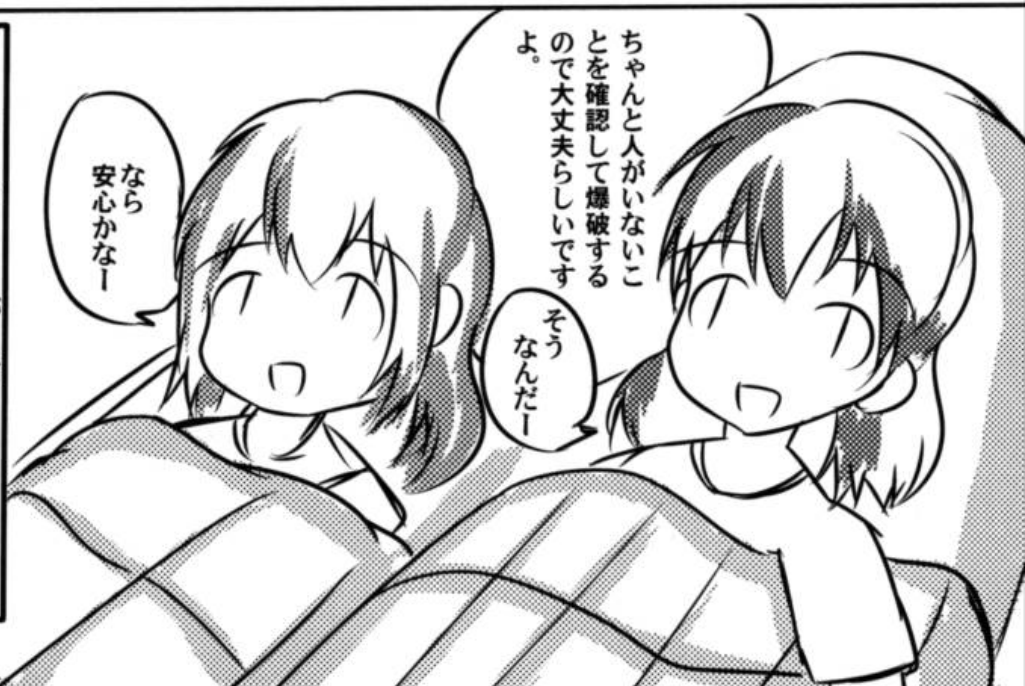
OKUDUKE

誌名: ヤマノジケン2合目
発行日: 2016.08/14
発行サークル: 要(かなめ)
サークル代表: 椎名悠輝
連絡先: yuuki_kaname@hotmail.com
<http://kannjinnkaname.web.fc2.com>
印刷会社: 関西美術印刷



私たちが泊まるのはこっちは古い方です

コルシカ島の登山路GR20の標高1270m地点のLe refuge de Carrozzu。ここには古い小さな山小屋があります。
コルシカ島では独立を求める過激派がフランス本土による開発事業を対象に爆破テロを繰り返していました。
1998年に訪れたときは新しい山小屋が建設途中で爆破された跡があり、翌1999年には訪れたときは、再び工事をしていました。
2016年現在、やはり、古い山小屋の写真しか案内には出てきません。
以上、高校時代の登山の思い出を語るゲストのすみちゃんでした！



An anime-style illustration of two young girls with surprised expressions. The girl on the right has dark hair and purple eyes, wearing a pink top. The girl on the left has grey hair and green eyes, wearing a grey jacket. The background is a dark, starry night sky with a large, glowing pink and purple light source. The entire scene is framed by a white border.

2016 summer
KANAME PRESENTS

夏
祭